

おひな様の飾りの中に植物があります。左近の桜と右近の橘たちばなです。もとは平安京の中の平安宮内裏だいりの紫宸殿でんという建物の前庭に植えられていました。

左近は左近衛府さこのえふ、右近は右近衛府の略称りやくしょうです。はじめは桜でなくて梅だったのですが、九六〇年に火事で焼けてしまい、そのあと桜が植えられました。

橘は平安京の前からあったもので、橘太夫という人の庭にあったものとも言われています。

京都の地図では左京区が右で右京区が左にあります。これは中国で天子（皇帝）は町の北のいすに南を向いて座ることになっていたため、皇帝から見て右手が、一般の人が皇帝のほうを見たとき左手になるのと同じことです。ですから左近の桜も東側に植えられていたことになりました。向かって右ですね。

ところで橘は垂仁天皇すいにんが不老不死の薬を求めて田道間守たまもりという家来を常世の国におつかいに行かせたとき、持ち帰ったものといえます。残念なことに、田道間守が帰国したとき、すでに垂仁天皇はこの世の人ではなかったのです。悲しんだ田道間守は自分も死んでしまったのでかわいそうに思った周りの人は垂仁天皇の前方後円墳の周濠の中に田道間守のお墓をこしらえました。今でも奈良にお墓があります。橘はお菓子のルーツともされたので、毎年お菓子屋さんたちがここに集まり、慰霊祭いれいさいもおこなわれているんですよ。

柑橘系（みかんのなかま）で、さわやかな味ではありませんね。今は売られていませんが。

音読サイン↓

① 何と何の話ですか？

② もともとなんという建物の前にありましたか？

③ ちぢめた言葉をなんと言いますか？二文字をさがしてうつしましょう。

④ いつから左近の桜になったのですか？

⑤ 橘はもともと誰の庭にあったらしいのですか？

⑥ 垂仁天皇はだれをおつかいに行かせたのですか？

⑦ 垂仁天皇はどこへ行ったのですか？

⑧ あっているものに○をつけましょう。

( ) 橘はお菓子のルーツとされた。

( ) 柑橘系というのはりんこの仲間だ。

( ) 右京区は地図でいうと右にある。

( ) 田道間守は垂仁天皇の家来だった。

⑨ 上の文の感想を五行にまとめましょう。

できばえは？

